(様式第３号)

# SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和４年１月17日　　企業・団体名：株式会社高知ミツトヨ

| カテゴリ | No. | SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項 | 取組レベル 基本 | 取組レベル チャレンジ | 具体的な取組（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人権・労働 | 1 | 【差別の禁止】<br>・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している | ● | | ・性別、年齢、障害、国籍、出身などの差別を防ぐための倫理行動基準を定め、従業員への周知を図るとともに、相談窓口および相談員を設置している | | | | 4.4 | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | 16.1<br>16.2<br>16.7 | |
| | 2 | 【ハラスメント禁止】<br>・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している | ● | | ・ハラスメントの防止に関する規程により、明文化している<br>・ハラスメント相談窓口を設置するとともに、社内および社外に相談員を配置している<br>・教育および啓発活動を行っている | | | | | 5.1<br>5.2<br>5.5 | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | 16.1 | |
| | 3 | 【ワークライフバランス】<br>・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる | ● | | ・先端設備の導入による生産性の向上を図り、労働時間の短縮による働き方改革を行っている<br>・有給休暇の時間単位取得や、積極的な有給休暇の取得を奨励している | | | | | | | | 8.5<br>8.8 | | | | | | | | | |
| | 4 | 【外国人労働者】<br>・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している | ● | | ・国内および海外の現地法人において、各国に定められている人権擁護の法令を遵守することを明文化し、全従業員が共有している | | | | 4.4 | | | | 8.7<br>8.8 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| | 5 | 【労働安全衛生】<br>・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる | ● | | ・安全衛生管理体制を構築し、「健康と労働安全連絡協議会」を組織して、従業員等の健康の保持、増進に必要な措置を講じている<br>・安全衛生基本方針を定め、安全衛生手帳の常時携帯を敢行し、従業員向けの労働安全衛生教育を行っている | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | 6 | 【メンタルヘルス】<br>・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる | ● | | ・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定し、従業員に周知している<br>・ストレスチェックによる実態の把握とセルフケアを実施している<br>・ストレスチェック結果の集計・分析による職場環境の改善の取組みを実施している | | | 3 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 7 | 【ダイバーシティ経営】<br>・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる | ● | | ・【予定】建設中の新工場ではユニバーサルデザインを考慮した多目的トイレを設置する | | | | | 5.1<br>5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| | 8 | 【人材育成】<br>・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している | ● | | ・技能および職業資格取得の報奨制度を設け、外部研修の受講や各種資格取得を奨励、顕彰している<br>・資格取得を昇格要件の評価項目として評価する<br>・適切なマネジメントおよび人事考課ができる管理職を育成するための教育を実施している | | | | 4 | 5.5 | | | 8 | 9 | | | | | | | | |
| | 9 | 【公正な待遇】<br>・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している | ● | | ・働き方改革関連法など、関係法令の内容を理解し、従業員の公正な待遇を行っている | | | | | 5.5 | | | 8.5 | | 10.2<br>10.3 | | | | | | | |
| | 10 | 【健康経営】<br>・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる | | ● | ・人間ドック、インフルエンザ予防接種等の経費補助を行っている<br>・【予定】建設中の新工場では、従業員の健康維持、増進のためのトレーニング機器類を設置する | | | 3 | | | | | 8 | | | | | | | | | |
| | 11 | 【新しい生活様式への対応】<br>・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している | | ● | ・毎日従業員の検温、マスクの着用、社内換気を徹底している<br>・来客者の検温、体調チェックを行っている<br>・ウェブ会議を積極的に導入している | | | 3 | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | |
| | 12 | 【デジタル化の推進】<br>・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している | | ● | ・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている<br>・社内保管資料や社内申請をデジタル化に順次移行するとともに、電子契約システムを積極的に利用している<br>・会議資料やカタログ等の電子化を進めている | | | | | | | | 8 | 9.1 | | 11 | 12 | | | | | |
| 環境 | 13 | 【廃棄物】<br>・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる | ● | | ・環境方針を定め、廃棄物の削減に取り組むとともに、社内外に公表している<br>・産業廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理を行っている | | | | | | | | | | | 11.6 | 12.4 | | 14.1 | | | |
| | 14 | 【エネルギー】<br>・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている | ● | | ・環境方針を定め、省資源・省エネルギーを推進し、社内外に公表している<br>・電気、ガス、ガソリンの使用量を記録し、節電・節約に取り組んでいる | | | | | | | 7.3 | | | | | | 13 | | | | |
| | 15 | 【温暖化対策】<br>・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる | ● | | ・簡易計算シート等を用いて$CO_2$排出量を算出し、削減の計画を策定している | | | | | | | 7.2<br>7.3 | | | | | 12.4 | 13.3 | | | | |
| | 16 | 【有害化学物質】<br>・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる | ● | | ・環境方針を定め、有害化学物質の削減に取り組むとともに、社内外に公表している<br>・法令で規制されている有害化学物質を把握し、適切な管理および適切な処理を行っている | | | 3.9 | | | 6.3 | | | | | 11.6 | 12.4 | | | | | |
| | 17 | 【生物多様性】<br>・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している | ● | | ・排出水はオイルトラップを通して排出し、水環境の保全に努めている<br>・緑地の整備を行い、周辺環境の保護に努めている<br>・【予定】新工場では雨水浸透桝を設置し、地下水の枯渇防止に努める | | | | | | 6.6 | | | | | | | | | 15 | | |

| カテゴリ | No. | SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項 | 取組レベル 基本 | 取組レベル チャレンジ | 具体的な取組<br>（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 18 | 【３Rの推進】<br>・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる | ● | | ・環境方針を定め、廃棄物の再資源化に取り組むとともに、社内外に公表している<br>・再生用紙の利用を推進している<br>・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している | | | | | | | | | | | | 12.5 | | 14.1 | | | |
| | 19 | 【カーボンニュートラルに向けた取組】<br>・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる | | ● | ・LED照明、およびハイブリッド車の積極的採用により$CO_2$の削減に取り組んでいる<br>・【予定】新工場では「高知家応援でんき」を採用し、$CO_2$の削減に取り組む | | | | | | | 7.1<br>7.2<br>7.3<br>7.a | | 9.4 | | 11.6<br>11.a | 12.8 | 13 | | | | 17.2 |
| | 20 | 【水の管理】<br>・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる | | ● | ・自社の水利用状況を記録し、使用量削減等の計画を策定している<br>・手洗い場の自動水栓により、節水に努めている | | | | | | 6.4<br>6.6 | | | | | | | | | | | |
| | 21 | 【環境マネジメントシステム】<br>・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している | | ● | ・【予定】ISO14001を2023年8月までに再取得する | | | 3.9 | | | 6 | 7 | | | | | 12 | 13.3 | 14 | 15 | | |
| | 22 | 【環境情報開示】<br>・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している | | ● | ・環境方針を策定し明文化して、すべての従業員に常時携帯を敢行し、環境に対する取組みの教育・啓蒙活動を行うとともに、社内外に公表している | | | | | | | | | | | | 12.6 | | | | | |
| | 23 | 【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】<br>・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる | | ● | ・機器類の導入に際しては、省エネ機器（コンプレッサー・トランス等）を率先して導入している | | | | | | | 7.2 | | | | | | 13 | | | | |
| | 24 | 【天然資源の持続的利用】<br>・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 25 | 【食品ロスの削減】<br>・食品ロスの削減に取り組んでいる | | ● | ・【予定】新工場で新たに設置する食堂では、需要と供給のバランスを図り、廃棄食品の削減に取組むとともに、余った食材の再利用に努める | 1 | 2 | | | | 6.4 | | | | | | 12.3<br>12.5 | | 14 | 15 | | 17 |
| 公正な事業慣行 | 26 | 【汚職・贈収賄防止】<br>・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している | ● | | ・汚職・贈収賄禁止等を含む倫理行動基準を定め、常時携帯を敢行し、全従業員に周知徹底している | | | | | | | | | | | | | | | | 16<br>16.5 | |
| | 27 | 【公正な競争】<br>・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している | ● | | ・会社として公正な取引に努め、不公正競争行為の禁止を含む倫理行動基準を定め、常時携帯を敢行し、全従業員に周知徹底している | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 28 | 【知的財産保護】<br>・知的財産の保護に取り組んでいる | ● | | ・特許権や著作権をはじめとする知的財産権を尊重し、適正な保護と活用を行っている<br>・知的財産権の取扱いについて倫理行動基準を定め、常時携帯を敢行し、全従業員に周知するとともに、侵害防止に対する取り組みを行っている | | | | | | | | 8.2<br>8.3 | 9 | | | | | | | | |
| | 29 | 【個人情報保護】<br>・個人情報を適切に管理している | ● | | ・倫理行動基準を定め、個人情報保護に対する基本方針を明文化して従業員に周知するとともに、関係法令および社内規程に則り、適切な管理を行っている<br>・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 30 | 【紛争鉱物】<br>・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 31 | 【サプライチェーン管理】<br>・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる | | ● | ・倫理行動基準を定め、事業活動に関わりのある全てのパートナーとの共存共栄を図ることを経営理念に掲げ、全役員・従業員に周知徹底している | | | | | 5 | | | 8 | | 10 | | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 製品・サービス | 32 | 【製品・サービスの安全性】<br>・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している | ● | | ・自社製品の安全性の確認と、不測の事態に対する迅速な対応を講じるための体制を確立している<br>・「PL総合対策委員会」を組織し、定期的に自社製品の安全対策の基本方針、および教育方針の策定を行っている | | | 3.9 | | | | | | | | | 12.4 | | | | | |
| | 33 | 【品質保証】<br>・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | ● | | ・品質目標を設定し、レビューを行い、継続的に有効性のある改善活動を行っている<br>・品質方針を策定するとともに、社内に掲示し、全従業員で取り組んでいる | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | |
| | 34 | 【環境に配慮した製品等】<br>・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等） | ● | | ・再生紙、古紙の利用を推進している | | | | | | 6 | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 35 | 【木質化の取組】<br>・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している | | ● | ・【予定】建築中の新工場の来客エリアや執務室には、高知県産材を使用する | | | | | | 6.1<br>6.6 | 7 | | | | 11.3<br>11.4<br>11.5 | 12.2 | 13 | | 15 | | |

| カテゴリ | No. | SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項 | 取組レベル 基本 | 取組レベル チャレンジ | 具体的な取組<br>（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 36 | 【社会課題解決・サービス】<br>・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | | ● | ・環境配慮型製品の開発・設計に取り組んでいる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 社会貢献・地域貢献 | 37 | 【地域への配慮】<br>・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している | ● | | ・新工場の建築に当たって住民説明会を開催し、地域住民の意見を拝聴して不安材料を払拭し、地域との有効な関係性の構築と共存を図るよう努めている | | | | 4 | | | | | 9 | | 11 | 12 | | 14 | 15 | | 17 |
| | 38 | 【社会貢献活動】<br>・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | | ● | ・体験学習を受け入れ、地域の次世代を担う人材（学生・子ども等）との交流・育成の機会を設けている<br>・【予定】新工場は、災害時の地域住民の一時避難場所としての環境整備を行い、地域に貢献する取組みを行う | | | | 4 | | | | | | | 11 | | | 14 | 15 | | 17 |
| | 39 | 【地域資源の積極的利用】<br>・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている | | ● | ・【予定】新工場に新たに設置する食堂では、高知県産の食材を積極的に使用し、地産地消に努める | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | | | | | |
| 組織体制 | 40 | 【法令遵守】<br>・法令遵守の考えが社内に浸透している | ● | | ・規程によりコンプライアンスへの取組みを明文化している<br>・倫理行動基準を定め、全従業員に常時携帯を敢行するとともに、社内の掲示板等で、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している<br>・コンプライアンス推進月間を定め、コンプライアンス標語を社内公募するなど、従業員への啓蒙を行っている | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 41 | 【内部管理体制】<br>・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している | ● | | ・経営理念を明文化し、全従業員に常時携帯を敢行するとともに、経営者は毎月発行する社内誌などを通して、会社のあるべき姿を従業員に常に発信している | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| | 42 | 【組織体制】<br>・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している | ● | | ・代表取締役社長を責任者とするコンプライアンス倫理委員会を設置している | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 43 | 【利害関係者との対話】<br>・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | ● | | ・取引先や行政機関など、利害関係者（ステークホルダー）と連携した取り組みを進めている | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 |
| | 44 | 【法令遵守】<br>・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている | | ● | ・法令順守（コンプライアンス）の方針、手順などの体制を整備している<br>・ヘルプライン規程により内部通報制度を整備するとともに、全従業員にヘルプラインカード（利用手順書）の常時携帯を敢行している | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 45 | 【リスクマネジメント】<br>・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している | | ● | ・あらゆる危機に迅速に対応するための危機管理対策を明文化している<br>・リスクの洗い出し、教育訓練、評価を行った上で、適切な対策を講じている | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 46 | 【社会的責任】<br>・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる | | ● | ・関係法令に則り、倫理行動基準により行動指針を定め、全従業員に周知している | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 47 | 【災害や事故等への備え】<br>・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる | | ● | ・南海トラフ地震に備えてBCPを策定し、訓練と見直しを行っている<br>・新型感染症対応フローを策定している | | | | | | | | | 9 | | 11 | | 13<br>13.1 | | | 16 | |
| | 48 | 【事業承継】<br>・事業承継に関する検討・対策を行っている | | ● | ・技術の伝承、多能工化による後継者の指導・育成に取り組んでいる | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | | 17 |
| 持続可能な社会・地方創生 | 49 | 【防災、減災、レジリエンス（自助）】<br>・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている | ● | | ・定期的に避難訓練を行っている<br>・事業継続計画（BCP）を策定している<br>・大規模地震対応細則をはじめとする防災・減災の各種規程および細則を定めている | | | | 4 | | | | | | | 11.5 | | 13.1 | | | 16 | |
| | 50 | 【防災、減災、レジリエンス（共助）】<br>・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている | | ● | ・会社の施設にAED（自動体外式除細動器）を設置している<br>・従業員の地域消防団活動を奨励している<br>・【予定】建設中の新工場では、自社を一時避難場所として近隣地域住民に開放する取り組みを行う | 1.5 | | 3 | 4 | | | | | | 10.2 | 11.5 | | 13.1 | | | 16 | 17 |
| | 51 | 【SDGsの普及啓発】<br>・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている | | ● | ・重点的に取組むSDGsを社内に掲示し、顧客や従業員などに対し、SDGsの普及啓発や教育を行っている | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 52 | 【産業人材の確保】<br>・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している | | ● | ・新規学卒者の採用に向け、高校生や大学生のインターンシップを積極的に受け入れている<br>・地元の学生を積極的に雇用している<br>・学校等と連携し、出前授業などを行っている<br>・高知県移住促進・人材確保センターを通じ、都市部などからのUIターン人材を積極的に採用している<br>・学生や社会人を対象にした就職関連イベントに積極的に参加し、優秀な人材の確保に取り組んでいる | | | | 4.4 | | | | 8.5<br>8.6 | | | | | | | | | | 17 |

| カテゴリ | No. | SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項 | 取組レベル | | 具体的な取組<br>（※事業者が記載する欄） | 主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 基本 | チャレンジ | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 53 | 【中山間地域を意識した取組】<br>・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している | | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | |